

家庭系可燃ごみ組成分析結果について

1 調査の概要

市内で排出される家庭系可燃ごみについて、減量や資源化のための基礎データとするために、組成分析を実施しました。

表 1 調査実施日及び調査地区

調査実施日			調査地区
第1回	令和2年9月	28日(月)	渋沢地区(商店地域) 柳町地区(戸建住宅地域)
		29日(火)	蓑毛地区(市街地周辺地域) 鶴巻地区(高層住宅地域)
第2回	令和2年12月	7日(月)	渋沢地区(商店地域) 柳町地区(戸建住宅地域)
		8日(火)	蓑毛地区(市街地周辺地域) 鶴巻地区(高層住宅地域)
第3回	令和3年3月	1日(月)	渋沢地区(商店地域) 柳町地区(戸建住宅地域)
		2日(火)	蓑毛地区(市街地周辺地域) 鶴巻地区(高層住宅地域)
第4回	令和3年6月	7日(月)	渋沢地区(商店地域) 柳町地区(戸建住宅地域)
		8日(火)	蓑毛地区(市街地周辺地域) 鶴巻地区(高層住宅地域)

2 調査項目

収集場所に出された可燃ごみに含まれるごみの組成(湿重量)を調査しました。分析した項目は、表2に示すとおりです。

表2 組成調査項目

大分類	小分類	備考
1 紙類	1-1 新聞紙	他の用途に使用されずに出されている新聞紙
	1-2 雑紙、広告、チラシ	ダイレクトメール、はがき、封筒、カレンダー、ノートなど名刺サイズ以上のリサイクル可能な紙類
	1-3 雑誌、書籍	本類、週・月刊誌、パンフレット
	1-4 段ボール	宅配便の箱など段ボール類
	1-5 紙バック(アルミ付き)	牛乳、ジュース、酒バック(プラの口付も含む)等
	1-6 紙バック(アルミなし)	牛乳、ジュース、酒バック(プラの口付も含む)等
	1-7 紙箱類	ティッシュやお菓子などの紙箱
	1-8 紙袋	
	1-9 その他紙製容器包装	紙製のカップ
	1-10 その他紙類(1)	レシート等感熱紙、シュレッダー破砕後の紙
	1-11 その他紙類(2)	トイレトペーパーの芯など上記以外で資源化できる紙
	1-12 資源化できない紙類	写真、シール、シール台紙、ラミネート加工された紙、ピザの箱など油で汚れた紙類
2 繊維類	2-1 衣類	
	2-2 その他	タオル、布巾
3 プラスチック類	3-1 ペットボトル	 表示のある物はすべて(洗剤、シャンプーの容器なども)
	3-2 その他容器包装プラ(発泡スチロール)	容器包装で発泡スチロール製のもの
	3-3 その他容器包装プラ(白色トレイ)	
	3-4 その他容器包装プラ	白色以外のトレイ等、レジ袋、蓋、カップ類、菓子袋、チューブ類(マヨネーズ等)、バック類(卵、弁当、詰替え袋、レトルトバック等)、野菜・果物のネット、ペットボトルのラベル・キャップおにぎり等の包み、タバコ等のフィルム、気泡緩衝材、製品梱包用ビニール紐
	3-5 その他のプラスチック	包装用テープ、ビデオテープ、文具、玩具、バケツなどの日用品
4 厨芥類	4-1 調理くず	※厨芥類の分類については、神奈川県作成「家庭から排出される食品廃棄物に占める食品ロスの調査マニュアル」等に基づく。
	4-2 調理くず(過剰除去)	
	4-3 残飯(食べ残し)	
	4-4 未開封品(直接廃棄)	
5 木・竹・わら類	5-1 剪定枝	
	5-2 雑草、草花、落ち葉	
	5-3 竹	
	5-4 その他	わら、木の根など
6 その他可燃物	6-1 紙おむつ	
	6-2 その他	保冷材、吸殻、掃除機のごみ、油の固めた物、布おむつ、包帯、ガーゼ、脱脂綿、割箸などの加工された木材、竹串、コルク、皮革類、(裁断された)布団、カイロ、布キレ
7 金属類	7-1 アルミ缶	飲食用のもの(ペットフードの缶を含む)
	7-2 スチール缶	飲食用のもの(ペットフードの缶を含む)
	7-3 カセット・スプレー缶	
	7-4 その他鉄類	7-1から7-3に当てはまらないもの
	7-5 その他非鉄類	7-1から7-3に当てはまらないもの
8 びん類	8-1 透明びん(飲料用及び食料用)	
	8-2 茶色びん(飲料用及び食料用)	
	8-3 他色びん(飲料用及び食料用)	
	8-4 その他びん	化粧品など、飲食用以外のもの
9 蛍光灯	9-1	環型、直管型、電球型(割れているものは除く)
10 電池	10-1	一次電池(アルカリ、マンガン)、二次電池(充電式)
11 体温計	11-1	電子式、アルコール式、水銀式
12 その他不燃物	12-1 小型家電	
	12-2 ガラス・セトモノ類	水槽、鏡
	12-3 刃物類	剃刀
	12-4 その他	傘、電球、割れた蛍光灯など
13 廃食用油	13-1	
14 排出容器	14-1	排出に利用したごみ袋

3 分析結果

本市の家庭系可燃ごみ組成割合は、次のとおりです。

表 3 家庭系可燃ごみ組成割合

単位: %

秦 野 市		地 区				平 均
大 分 類	分 類 項 目	渋 沢	柳 町	蓑 毛	鶴 巻	
	小 分 類					
1 紙 類	1-1 新聞紙	1.3	1.0	0.4	0.2	0.7
	1-2 雑紙、広告、チラシ	2.3	5.0	2.6	3.2	3.3
	1-3 雑誌、書籍	0.3	0.3	1.2	1.6	0.9
	1-4 段ボール	0.5	1.0	1.0	0.4	0.7
	1-5 紙パック(アルミ付き)	0.5	0.2	0.1	0.4	0.3
	1-6 紙パック(アルミなし)	0.6	0.4	0.4	0.6	0.5
	1-7 紙箱類	1.5	2.7	2.3	2.4	2.2
	1-8 紙袋	0.7	0.4	0.4	0.2	0.4
	1-9 その他紙製容器包装	0.6	0.5	0.5	0.7	0.5
	1-10 その他紙類(1)	1.1	0.3	0.1	0.1	0.4
	1-11 その他紙類(2)	0.3	0.7	0.2	0.4	0.4
	1-12 資源化できない紙類	11.2	15.7	9.0	13.1	12.3
2 繊維類	2-1 衣類	4.8	5.0	7.3	2.4	4.9
	2-2 その他	1.3	2.0	4.6	1.0	2.2
3 プラスチック類	3-1 ペットボトル	0.5	0.5	0.3	0.1	0.3
	3-2 その他容器包装プラ(発泡スチロール)	0.2	0.7	1.0	0.2	0.5
	3-3 その他容器包装プラ(白色トレイ)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	3-4 その他容器包装プラ	7.3	11.3	8.3	12.0	9.7
	3-5 その他のプラスチック	2.1	4.0	3.4	4.9	3.6
4 厨芥類	4-1 調理くず	31.3	21.9	20.1	25.9	24.8
	4-2 調理くず(過剰除去)	1.7	1.6	1.7	1.5	1.6
	4-3 残飯(食べ残し)	8.3	7.6	10.7	6.4	8.2
	4-4 未開封品(直接廃棄)	3.2	4.4	4.0	3.8	3.8
5 木・竹・わら類	5-1 剪定枝	0.0	-	2.3	0.3	0.6
	5-2 雑草、草花、落ち葉	0.3	0.3	1.2	0.3	0.5
	5-3 竹	-	-	0.2	-	0.1
	5-4 その他	-	0.0	0.7	-	0.2
6 その他可燃物	6-1 紙おむつ	7.0	4.2	5.3	7.3	6.0
	6-2 その他	9.8	6.1	6.8	8.8	7.9
7 金属類	7-1 アルミ缶	-	0.0	0.0	0.0	0.0
	7-2 スチール缶	0.0	0.0	0.0	-	0.0
	7-3 カセット・スプレー缶	0.0	-	-	0.1	0.0
	7-4 その他鉄類	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	7-5 その他非鉄類	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2
8 びん類	8-1 透明びん(飲料用及び食料用)	0.0	0.0	-	-	0.0
	8-2 茶色びん(飲料用及び食料用)	0.1	0.3	-	-	0.1
	8-3 他色びん(飲料用及び食料用)	-	-	-	-	-
	8-4 その他びん	-	-	-	-	-
9 蛍光灯	9-1	-	-	-	-	-
10 電池	10-1	-	0.0	0.0	0.0	0.0
11 体温計	11-1	-	-	-	-	-
12 その他不燃物	12-1 小型家電	0.0	0.1	0.5	0.1	0.2
	12-2 ガラス・セトモノ類	0.1	0.1	0.1	-	0.1
	12-3 刃物類	-	0.0	-	-	0.0
	12-4 その他	-	0.3	1.8	0.6	0.7
13 廃食用油	13-1	-	0.2	0.5	-	0.2
14 排出容器	14-1	0.8	0.9	0.9	0.8	0.8
合 計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

・数値の表記について、“0.0”は排出があり、“-”は排出がなかったことを示す。

・数値の丸め処理のため合計値が“100.0”にならない場合がある。

表 4 家庭系可燃ごみ組成割合（大分類）

単位：%

秦野市	地 区				全 体
	渋 沢	柳 町	菘 毛	鶴 巻	
分類項目(大分類)					
1 紙 類	21.0	28.3	18.3	23.2	22.7
2 繊維類	6.1	7.0	11.8	3.4	7.1
3 プラスチック類	10.2	16.6	13.0	17.3	14.3
4 厨芥類	44.6	35.4	36.4	37.6	38.5
5 木・竹・わら類	0.3	0.3	4.4	0.6	1.4
6 その他可燃物	16.8	10.3	12.1	16.1	13.8
7 金属類	0.1	0.3	0.3	0.3	0.2
8 びん類	0.1	0.3	-	-	0.1
9 蛍光灯	-	-	-	-	-
10 電池	-	0.0	0.0	0.0	0.0
11 体温計	-	-	-	-	-
12 その他不燃物	0.1	0.4	2.3	0.6	0.9
13 廃食用油	-	0.2	0.5	-	0.2
14 排出容器	0.8	0.9	0.9	0.8	0.8
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

・数値の表記について、“0.0”は排出があり、“-”は排出がなかったことを示す。

・数値の丸め処理のため合計値が“100.0”にならない場合がある。

表 5 《参考》伊勢原市の家庭系可燃ごみ組成割合（大分類）

単位：%

伊勢原市	地 区				全 体
	片町 第一・第二	上平間台	東高森 団地	宮 下	
分類項目(大分類)					
1 紙 類	28.7	23.6	20.0	17.6	22.5
2 繊維類	3.5	4.2	5.1	4.7	4.4
3 プラスチック類	14.1	14.5	15.5	14.5	14.6
4 厨芥類	34.3	37.3	36.6	33.0	35.3
5 木・竹・わら類	5.4	5.9	9.9	13.2	8.6
6 その他可燃物	12.1	12.9	11.0	15.0	12.7
7 金属類	0.4	0.2	0.3	0.4	0.3
8 びん類	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1
9 蛍光灯	-	-	-	-	-
10 電池	-	-	-	0.0	0.0
11 体温計	-	0.0	-	-	0.0
12 その他不燃物	0.2	0.7	0.4	0.4	0.4
13 廃食用油	0.1	-	-	0.3	0.2
14 排出容器	1.0	0.7	0.8	0.9	0.9
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

・数値の表記について、“0.0”は排出があり、“-”は排出がなかったことを示す。

・数値の丸め処理のため合計値が“100.0”にならない場合がある。

表 6 令和2年度家庭系可燃ごみにおける推定重量

R2家庭系可燃ごみ量(実績)	26,532 t
H27家庭系可燃ごみ量(実績)	32,023 t

秦 野 市		割合(%)		推計値 (t)		
分類項目		R2	H27	R2	H27	差 (R2-H27)
大分類	小分類					
1 紙類	1-1 新聞紙	0.7	0.6	186	192	-6
	1-2 雑紙、広告、チラシ	3.3	2.7	876	865	11
	1-3 雑誌、書籍	0.9	0.6	239	192	47
	1-4 段ボール	0.7	0.5	186	160	26
	1-5 紙パック(アルミ付き)	0.3	0.2	80	64	16
	1-6 紙パック(アルミなし)	0.5	0.8	133	256	-123
	1-7 紙箱類	2.2		584		
	1-8 紙袋	0.4	2.2	106	705	-15
	1-9 その他紙製容器包装	0.5	2.5	133	801	-668
	1-10 その他紙類(1)	0.4		106		
	1-11 その他紙類(2)	0.4	10.8	106	3,458	17
	1-12 資源化できない紙類	12.3		3,263		
2 繊維類	2-1 衣類	4.9	1.9	1,300	608	692
	2-2 その他	2.2	3.5	584	1,121	-537
3 プラスチック類	3-1 ペットボトル	0.3	0.4	80	128	-48
	3-2 その他容器包装プラ(発泡スチロール)	0.5	0.0	133	0	133
	3-3 その他容器包装プラ(白色トレイ)	0.0	0.0	0	0	0
	3-4 その他容器包装プラ	9.7	7.7	2,574	2,466	108
	3-5 その他のプラスチック	3.6	0.6	955	192	763
4 厨芥類	4-1 調理くず	24.8		6,580		
	4-2 調理くず(過剰除去)	1.6	29.5	425	9,447	-266
	4-3 残飯(食べ残し)	8.2		2,176		
	4-4 未開封品(直接廃棄)	3.8	0.6	1,008	192	816
5 木・竹・わら類	5-1 剪定枝	0.6	3.0	159	961	-802
	5-2 雑草、草花、落ち葉	0.5	22.4	133	7,173	-7,040
	5-3 竹	0.1		27		
	5-4 その他	0.2	1.7	53	544	-464
6 その他可燃物	6-1 紙おむつ	6.0	2.9	1,592	929	663
	6-2 その他	7.9	3.4	2,096	1,089	1,007
7 金属類	7-1 アルミ缶	0.0	0.0	0	0	0
	7-2 スチール缶	0.0	0.0	0	0	0
	7-3 カセット・スプレー缶	0.0	0.0	0	0	0
	7-4 その他鉄類	0.0	0.0	0	0	0
	7-5 その他非鉄類	0.2	0.0	53	0	53
8 びん類	8-1 透明びん(飲料用及び食料用)	0.0	0.0	0	0	0
	8-2 茶色びん(飲料用及び食料用)	0.1	0.0	27	0	27
	8-3 他色びん(飲料用及び食料用)	-	0.0	-	0	0
	8-4 その他びん	-	0.0	-	0	0
9 蛍光灯	9-1	-	0.0	-	0	0
10 電池	10-1	0.0	0.0	0	0	0
11 体温計	11-1	-	0.0	-	0	0
12 その他不燃物	12-1 小型家電	0.2	0.0	53	0	53
	12-2 ガラス・セトモノ類	0.1	0.0	27	0	27
	12-3 刃物類	0.0	0.0	0	0	0
	12-4 その他	0.7	0.4	186	128	58
13 廃食用油	13-1	0.2	0.2	53	64	-11
14 排出容器	14-1	0.8	0.4	212	128	84
合 計		100.0	100.0	26,532	32,023	-5,491

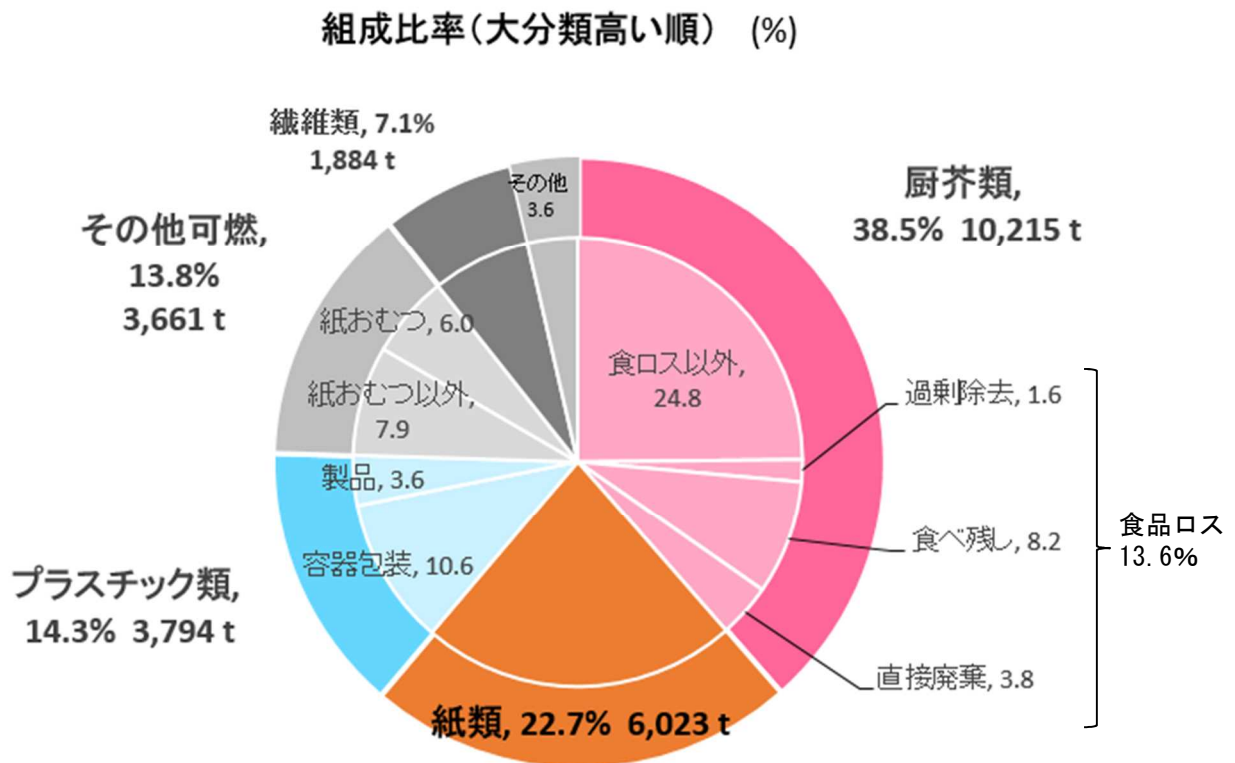
・割合の列の数値の表記について、“0.0”は排出があり、“-”は排出がなかったことを示す。
 ・数値の丸め処理のため合計値が一致しない場合がある。

-8,306

4 家庭系可燃ごみ組成の特徴

大分類（グラフ外側の円）としては、厨芥類が 38.5%（約 4 割）を占めていることが分かります。

さらに、厨芥類、プラスチック類、その他可燃について、それぞれ、食品ロスか非食品ロスか、容器包装プラか製品プラか、紙おむつか紙おむつ以外かに注目しました（グラフの内側の円）。



※端数処理のため、各大分類の組成割合はグラフ内内訳の合計及び表 6 の該当項目の合計と一致しない。

厨芥類のうち食品ロス以外が 24.8%、食品ロスは 13.6%。(概ね 65 : 35)

- ✓ 食品ロス以外についてのアプローチは水切りや堆肥化。
- ✓ 食品ロスのうち最も多いのは「食べ残し」8.2%。(食品ロスの 6 割)

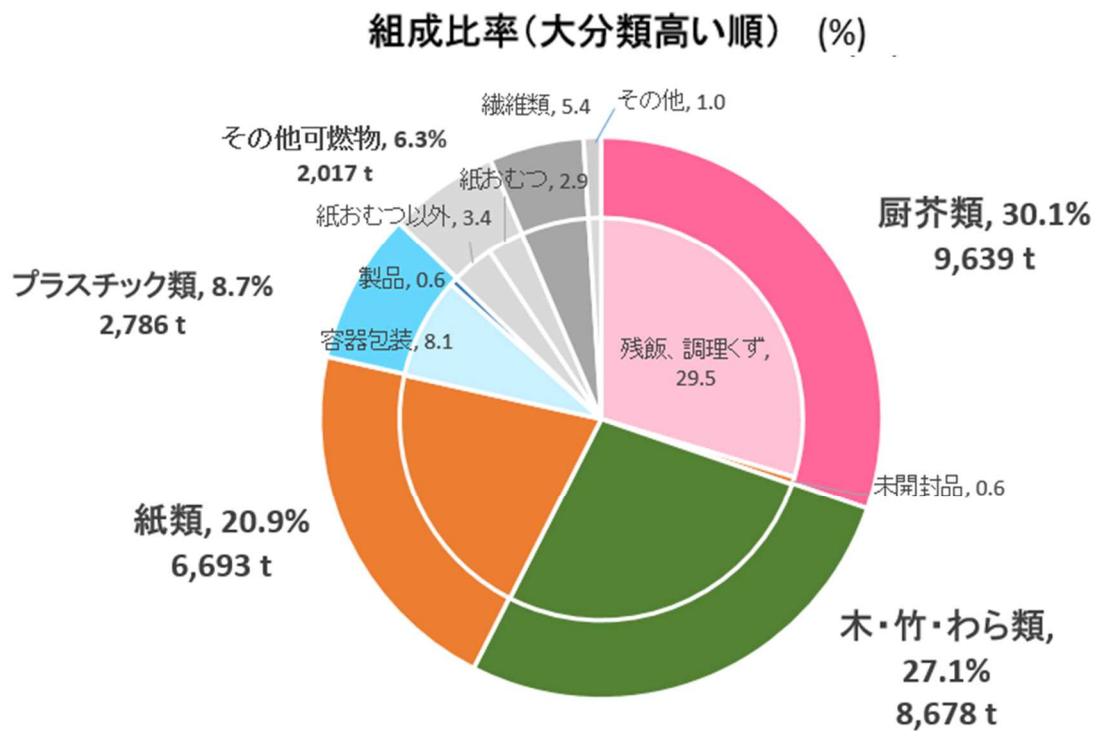
資源になりうる項目で目立つのは、紙類 22.7%、プラスチック類 14.3%

- ✓ 紙箱などその他紙に分別しうるものが 4.4%あったが、紙類は油で汚れた紙なども含まれ、全量は資源化できない。
- ✓ プラスチック類は容器包装プラが 10.5%、製品プラは 3.6%だった。
容器包装プラは資源化できるものが多い。
製品プラは国の動向を注視し、分別収集を開始することで今後資源化できる。



(右写真) 組成分析の過程で分類された可燃ごみ中の容器包装プラスチック

《参考》 平成28年度家庭系可燃ごみ組成分析の結果



※端数処理のため、組成割合の合計は100%にならない。

※今回の組成分析結果と比べると、草木類の割合が顕著に多かった

平成31年4月から市内全域での草木類分別収集の前後で大きな差がある。